

## 施工店様へ

このたびは当製品をご採用いただきありがとうございました。  
 ■施工前にこの施工説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。  
 ■取扱説明書・ご愛用者ハガキは必ずお客さまにお渡ししてください。

商品の取り付け工事は、お客さまご自身でなさないでください。(専門の工事店にお任せください。)

## 施工説明書

### 室内物干しユニット ホシ姫サマ

### 壁付けコンパクトサイズ

品番：CWF14CM・CWF14CMA

## 1. 安全上のご注意

必ずお守りください

■施工される人への危害を未然に防止するため、お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、設置工事において必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った設置をした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です)



**警告**

この表示の欄は「死亡や重傷を負うことが想定される危害の程度」です。



**注意**

この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害、損害の程度」です。



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「指示」内容です。

### 警告

**分解禁止**

●商品の分解、修理、改造は絶対しない。

けがや故障の原因となります。



必ず守る

●本体は十分強度のあるところに確実に取り付ける。取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

●付属のねじを必ず使用する。(コンクリート仕上げの壁面に取り付ける場合には、必ず専用のアンカーを手配する。) それ以外のねじを使用すると落下によるけがの原因となります。

### 注意



禁止

●本体の正面に立って操作ひもを操作しない。目の前に竿が飛び出して、けがのおそれがあります。

●付属の竿以外は使用しない。落下によるけがの原因となります。



必ず守る

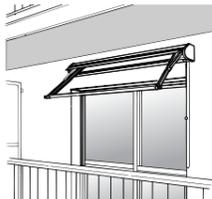
●取り付け位置に注意する。  
暖房器などを置くような場所や使用時に竿に当たるような場所では、火事やけがのおそれがあります。

## 2. 施工前のご注意

〔設置場所の選定が重要です。〕 次の点に注意して、取り付け場所をお客さまとご相談のうえ、決定してください。

室内用です。

屋外(軒下含む)・浴室には取り付けしないでください。  
機能低下・破損のおそれがあります。



室内物干しユニットを取り付ける場所に除湿機(換気扇など)を取り付けることをおすすめします。

湿気により結露が発生したり、クロスなどを傷めるおそれがあります。

●本体の取り付け高さにご注意ください。(お客さまが作業のしやすい高さに取り付けてください。)

下方向のストロークは約300mmです。壁面より約500mm前へ出ます。(寸法図参照)  
例えば、床面より高さ2000mm(本体下面)の高さに取り付けの場合は、竿の高さは床面より約1700mmの位置になります。  
低い位置に設置すると、竿が目の前に飛び出たり、洗濯物が床についたりします。

●操作ひもがカーテンにぶつからない位置に取り付けてください。

カーテンと重なると、操作ひもを引きにくくなります。



●カーテンボックス上に設置する場合は...

5. 施工のしかた「カーテンレール...120mm以上の場合」(裏面)に記載の補強用桝木が必要です。

●取り付け場所にはご注意ください。

出入り口や人の動きの妨げになる場所には取り付けしないでください。



●電気製品・暖房器などを下に置くような場所には取り付けしないでください。



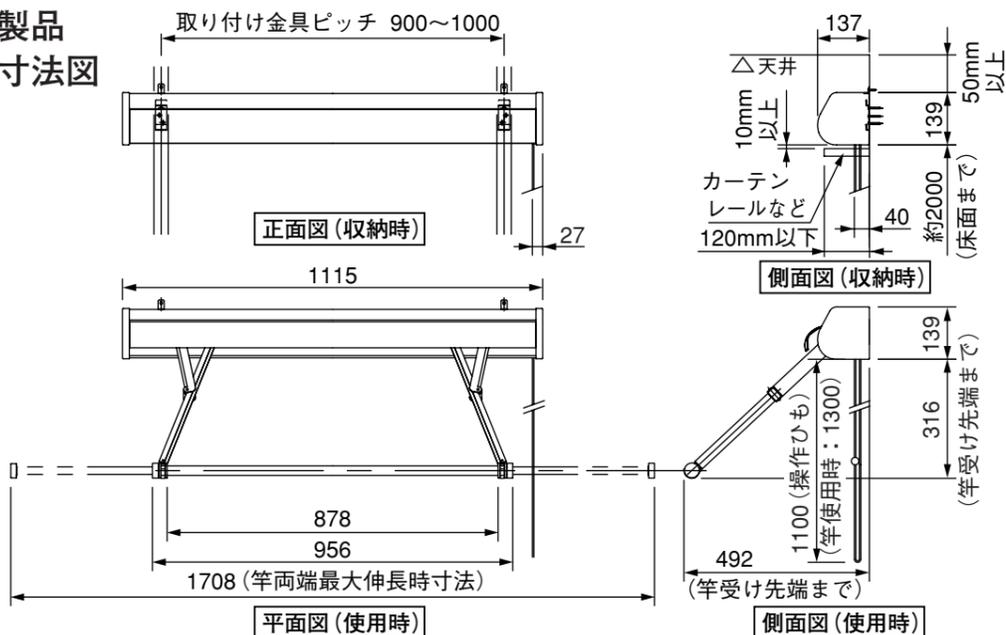
## 3. 製品について

※製品の質量(重量)は約6kgです。

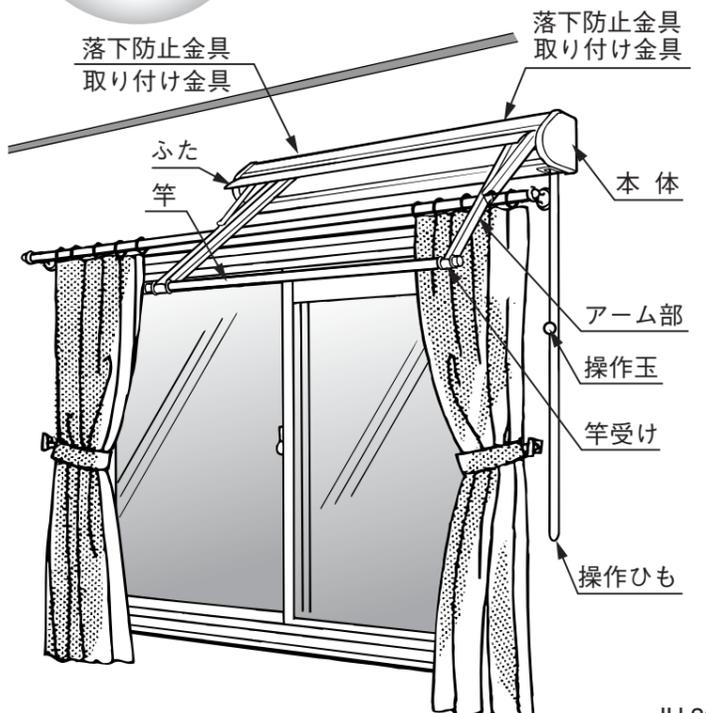
■製品寸法図

梱包内容	本体(竿付き)	1個	取り付け金具	2個
	落下防止金具	2個		
	落下防止金具固定ねじ	2本	取り付け金具固定ねじ	6本
	トラスφ4×30		トラスφ4×40	

[寸法単位: mm]



## 4. 各部のなまえ



JH-30

この説明書は再生紙を使用しています。

第1版 0602

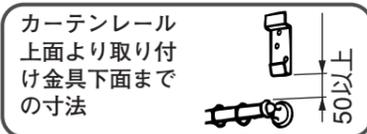
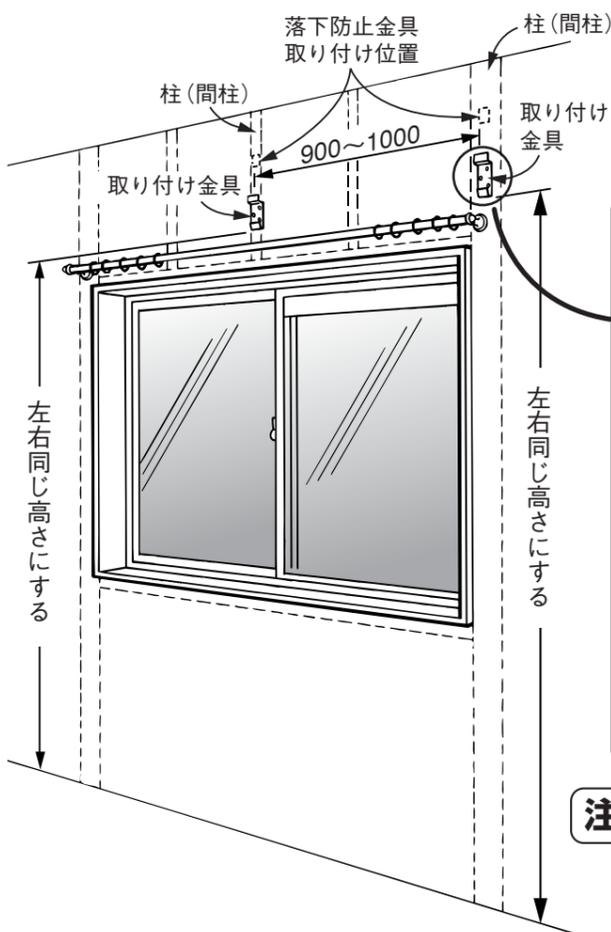
# 5.

## 施工のしかた

**注意** 窓上に取り付ける場合は、内装壁面仕上げ後、カーテンレールを取り付けた後にホシ姫サマの取り付けを行ってください。

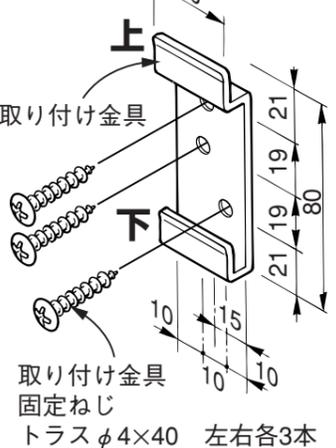
### 1. 取り付け金具の取り付け [取り付け強度が重要です。]

●柱・間柱のあるところに取り付け金具を取り付け金具固定ねじ(トラスφ4×40 左右各3本)で取り付ける。 [寸法単位: mm]



#### 取り付け金具の取り付け

※取り付け金具は上下を間違えないように取り付けてください。



**注意** 取り付け金具は柱(間柱)に必ず固定してください。(柱がない場合は、栈木などで補強してください。)

#### ご注意

- 取り付け金具は必ず柱・間柱に水平・垂直に取り付けてください。
- 左右の取り付け金具は必ず床面より同じ高さに取り付けてください。(本体が水平に取り付きません。)

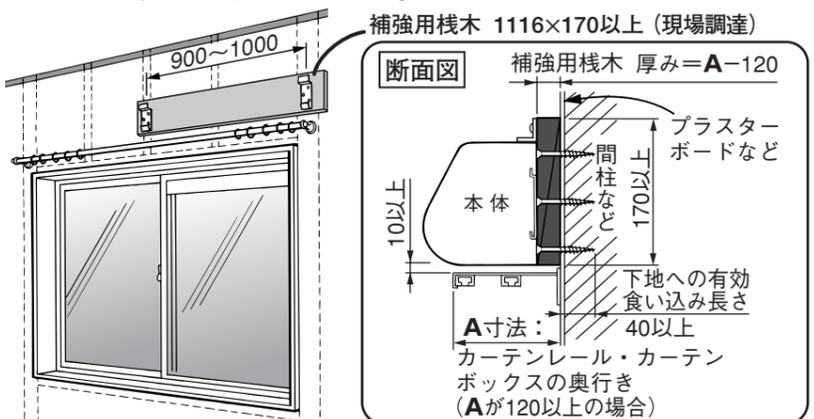
## 注意



●本体は十分強度のあるところに確実に取り付ける。(プラスターボード・ALCなどへの直付けはしない。) 取り付けが不完全な場合、落下によるけがの原因となります。

### カーテンレール・カーテンボックスの奥行きが120mm以上の場合

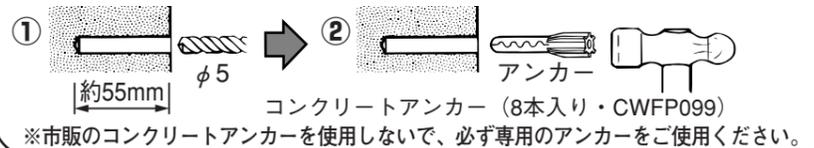
**注意** 補強用栈木などを取り付けて、本体を前に出してください。昇降時に竿がカーテンレール・カーテンボックスに当たるおそれがあります。



※補強用栈木は40mm以上芯材に入る長さのねじ(最低3本/栈木)で下穴をあけて取り付けてください。パーティクルボードなどの端材を使用しないでください。

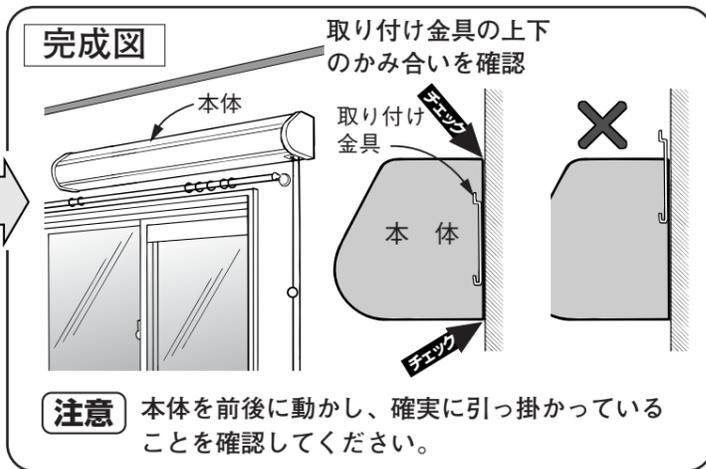
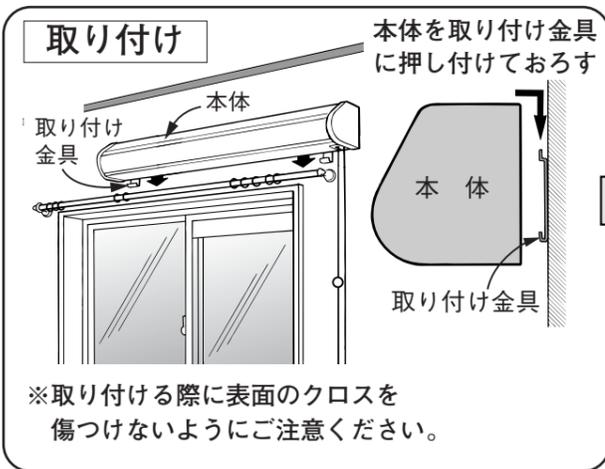
### 壁面がコンクリート仕上げの場合 (落下防止金具を取り付ける個所も同様にしてください。)

**注意** 取り付け金具固定ねじがきかない場合は、①5mmドリルで下穴をあけ、コンクリートボンドを流し込んでから、②専用のコンクリートアンカーを打ち込み、固定ねじで固定してください。



### 2. 本体の取り付け [取り付け金具の確実なかみ合いが重要です。]

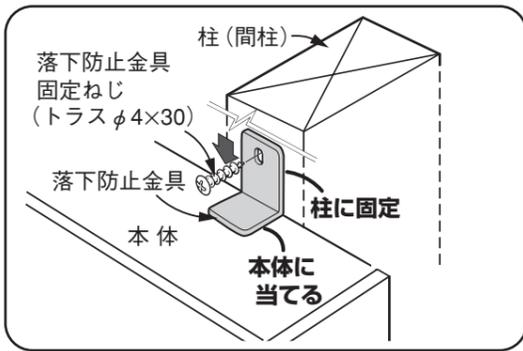
●壁面の取り付け金具に本体を軽く押し当て、水平におろし、確実に取り付け金具に引っ掛ける。



### 3. 落下防止金具の取り付け

**注意** 落下防止のため、落下防止金具は必ず取り付けてください。

●本体を取り付けた後、本体上面に落下防止金具(左右各1)を取り付ける。(※取り付け後、本体が外れないことを確認してください。)



# 6.

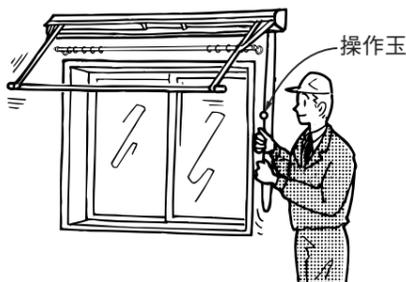
## 施工後の確認

1. 本体が取り付け金具に確実に取り付けられたことを確認する (上記完成図参照) (手で本体を持って前後に動かす。)

2. フタ仮止めテープ・操作ひも仮止めテープをはがす

3. 竿の出し入れを確認する

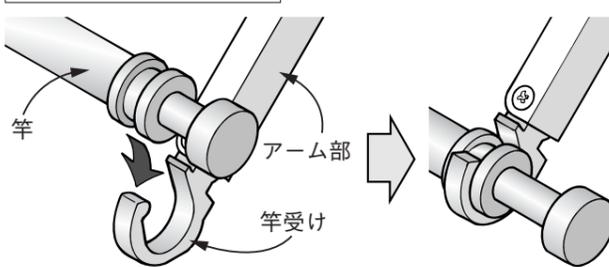
- ①操作玉のついている操作ひもを止まるまで引っ張って、竿を出す。
  - ②竿を収納する場合は、反対の操作ひもを引っ張って本体のボックスが閉まるのを確認する。
- ※本体の正面に立って操作ひもを操作すると目の前に竿が飛び出しますので、ご注意ください。



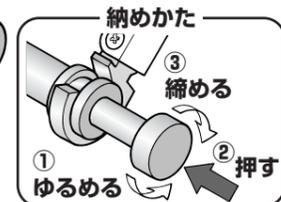
### 竿について

※付属の竿以外は使用しないでください。

竿の取り付けかた ...アーム部を持って、竿受けに竿を入れる



**注意** 竿の両端を納めてから収納してください。竿が本体にぶつかり、故障の原因となります。



竿を外す場合 ...アーム部を持って、竿を下から押し上げて外す